【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和7年2月12日(2025.2.12)

【公開番号】特開2024-103542(P2024-103542A)
【公開日】令和6年8月1日(2024.8.1)
【年通号数】公開公報(特許)2024-143
【出願番号】特願2024-83024(P2024-83024)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｎ　2/56(2006.01)
Ｂ６０Ｎ　2/90(2018.01)
Ａ４７Ｃ　7/74(2006.01)
Ａ４７Ｃ 27/00(2006.01)
Ｂ６０Ｈ　1/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｎ　2/56
Ｂ６０Ｎ　2/90
Ａ４７Ｃ　7/74　　Ｃ
Ａ４７Ｃ 27/00　　Ｆ
Ｂ６０Ｈ　1/00　１０２Ｖ

【手続補正書】
【提出日】令和7年1月31日(2025.1.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
通気路を有するシートパッドと、前記通気路に接続された送風装置と、を備え、
前記シートパッドは、パッド本体と、前記パッド本体に重ねて配置されるカバー部材と、を備え、
前記シートパッドは、表皮材を吊り込むための左右の吊り込み溝を有し、
前記カバー部材は、左右の側面に、それぞれ、複数の凹部が設けられ、
前記複数の凹部は、前記吊り込み溝に沿って設けられていることを特徴とするシート。
【請求項２】
前記凹部は、着座者側から見て、左右方向に直交する方向の位置が、前記通気路と重なることを特徴とする請求項１に記載のシート。
【請求項３】
前記複数の凹部は、前記吊り込み溝に沿って並ぶ、第１凹部と第２凹部を含むことを特徴とする請求項１または請求項２に記載のシート。
【請求項４】
前記パッド本体は、着座者側から着座者側とは反対側に向けて貫通した通気孔を有し、
前記第２凹部は、着座者側から見て、左右方向に直交する方向の位置が、前記通気孔と重なることを特徴とする請求項３に記載のシート。
【請求項５】
前記第１凹部は、着座者側から見て、左右方向に直交する直交方向の位置が、前記カバー部材の前記直交方向の中央と重なることを特徴とする請求項３または請求項４のいずれか１項に記載のシート。

【請求項６】
前記カバー部材の後端は、前に向けて凹む形状を有することを特徴とする請求項１から請求項５のいずれか１項に記載のシート。
【請求項７】
前記第１凹部と前記第２凹部は、カバー部材の左右の側面に左右対称に設けられ、
左右の前記第１凹部の距離は、左右の前記第２凹部の距離よりも大きいことを特徴とする請求項３から請求項５のいずれか１項に記載のシート。
【請求項８】
前記凹部は、着座者側から着座者側とは反対側に向かう方向の位置が、前記吊り込み溝と重なることを特徴とする請求項１から請求項７のいずれか１項に記載のシート。
【請求項９】
前記パッド本体は、着座者側から着座者側とは反対側に向けて貫通した通気孔を有し、
着座者側から見て、前記凹部の凹み量は、前記通気孔の左右方向の長さよりも小さいことを特徴とする請求項１から請求項８のいずれか１項に記載のシート。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
そこで、複数の部品からなるシートパッドを強固に一体化することを目的とする。
また、シートパッドを構成するパッド本体とカバー部材の位置を容易に決めることを目的とする。
また、着座フィーリングを向上させることを目的とする。
また、パッド本体とカバー部材の位置を精度良く決めることを目的とする。
また、パッド本体とカバー部材の誤組を抑制することを目的とする。
また、シートパッドを簡単な構成とすることを目的とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
シートは、通気路を有するシートパッドと、前記通気路に接続された送風装置と、を備え、前記シートパッドは、パッド本体と、前記パッド本体の着座者側の面に重ねて配置されて前記パッド本体との間に前記通気路を形成するカバー部材と、を備え、前記カバー部材は、前記パッド本体の着座者側の面に重ねて配置された第１カバー部材と、前記第１カバー部材の着座者側の面に重ねて配置された第２カバー部材と、を備え、前記第１カバー部材は、前記パッド本体に固着されており、前記第２カバー部材は、前記第１カバー部材と前記パッド本体の両方に固着されている構成とすることができる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
パッド本体、第１カバー部材および第２カバー部材を互いに固着することで、複数の部品からなるシートパッドを強固に一体化することができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
　また、第１カバー部材の着座者側とは反対側の面をパッド本体の着座者側の面に固着し、第２カバー部材の着座者側とは反対側の面を第１カバー部材とパッド本体の着座者側の面に固着することで、複数の部品からなるシートパッドを一層強固に一体化することができる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
　また、パッド本体と第１カバー部材の一方に第１係合凸部を設け、他方に第１係合凹部が設けることで、パッド本体とカバー部材の位置を容易に決めることができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
　また、第１係合凸部をパッド本体に設け、第２カバー部材の着座者側とは反対側の面を第１係合凸部の着座者側の面に固着することで、着座フィーリングを向上させることができる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
　また、第１係合凸部が第１凸部と第２凸部を含み、第１係合凹部が第１凹部と第２凹部を含むことで、パッド本体とカバー部材の位置を精度良く決めることができる。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
　また、第１凹部と第２凹部の形状を異ならせることで、パッド本体とカバー部材の誤組を抑制することができる。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
　また、第１係合凸部および第１係合凹部を左右方向において側部よりも内側に設けることで、シートパッドを簡単な構成とすることができる。
【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３２】
　また、シートクッションのパッド本体と第２カバー部材の一方に第２係合凸部を設け、他方に第２係合凹部を設けることで、パッド本体とカバー部材の位置を容易に決めることができる。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
　また、第２係合凸部および第２係合凹部の形状などをシートの仕様に応じて異ならせることで、仕様の異なるパッド本体とカバー部材の誤組を抑制することができる。